

第132期 中間報告書

平成28年1月1日～平成28年6月30日



ほっと、人、あんしん。



KEIYO GAS

京葉ガス株式会社

(証券コード 9539)

目次

株主の皆さまへ	1
営業の状況（個別）	2～3
個別財務諸表	4
連結財務諸表	5
トピックス	6～7
会社の概況	8
株式情報	9

第2四半期累計期間の主要な経営指標

■個別

売上高	44,606百万円
経常利益	6,382百万円
四半期純利益	4,466百万円
総資産	89,150百万円
純資産	58,008百万円
自己資本比率	65.1%
1株当たり純資産	1,064.81円
1株当たり四半期純利益	81.99円

■連結

売上高	46,392百万円
経常利益	7,006百万円
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,799百万円
総資産	102,827百万円
純資産	67,806百万円
自己資本比率	63.9%
1株当たり純資産	1,225.51円
1株当たり四半期純利益	89.48円

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご支援ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第132期第2四半期累計期間（平成28年1月1日から平成28年6月30日まで）における当社の状況につきましては、次ページ以降にて詳細をご報告申し上げますが、これに先立ち概況をご報告申し上げます。

ご高承のとおり、我が国経済は、雇用や所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあり、基調としては緩やかな回復を続けておりますが、その一方で、海外経済の不安要因の存在などもあり、先行きは不透明な状況となっております。

エネルギー業界におきましては、平成28年4月から電力小売全面自由化がスタートし、異業種からの新規参入の動きが高まるなか、平成29年4月には都市ガスの小売全面自由化も予定されており、当社を取り巻く環境は急激に変化しつつあります。

このような状況のなか、当社は、全社一丸となって天然ガスの普及拡大に努めましたが、ガス販売量の減少や原料費調整制度による販売単価の下方調整などにより、当第2四半期累計期間における売上高は前年同期に比べ減収となり、経常利益についても減益となりました。一方、四半期純利益につきましては、法人税率が引き下げられたことなどにより増益となりました。

中間配当につきましては、継続的な安定配当の実施という基本方針のもと、普通株式1株につき4円50銭とさせていただきます。

当社は、平成28年から平成30年までの中期経営計画において設定した、「オール京葉ガスとしてエネルギー供給事業をコアとしながら多様なサービスを提供し、『地域と共に成長する価値創造企業』を実現する」という基本的な方向性に基づき、「エネルギー供給事業を基盤に、新たな事業領域へ果敢に挑戦」という3年後のありたい姿の実現に向けて努力しているところでございます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年8月



代表取締役社長

湯山 英清

●ガス販売状況

お客さま件数

平成28年6月末のお客さま件数は、前期末に比べ7,354件増加し、907,300件となりました。

（ご参考） 前年同期末のお客さま件数は897,631件でしたので、前年同期末と比較した場合、9,669件の増加となっております。

ガス販売量

当第2四半期累計期間におけるガス販売量は、前年同期比1.8%減の379,293千m³となりました。

ガス販売量を用途別に見ますと、家庭用につきましては、気温・水温が前年に比べ高めに推移した影響により、前年同期比3.6%減の183,384千m³となりました。

また、業務用（商業用、工業用、その他）のガス販売量につきましては、ほぼ前年並みの195,908千m³となりました。

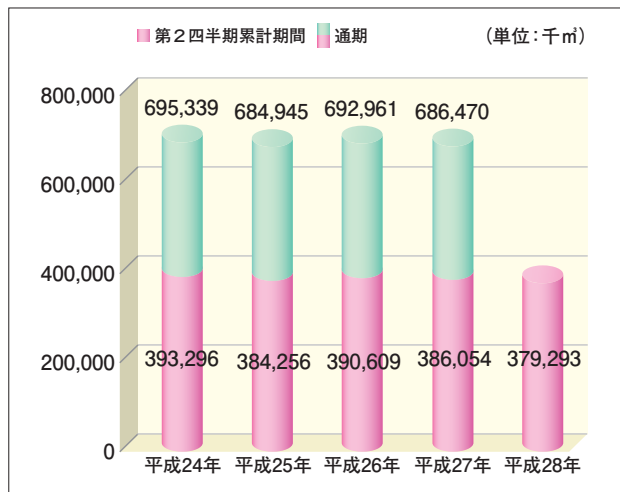
●収支の状況

売上高につきましては、ガス販売量の減少や原料費調整制度による販売単価の下方調整などによりガス売上高が減少した結果、前年同期比17.8%減の446億6百万円となりました。

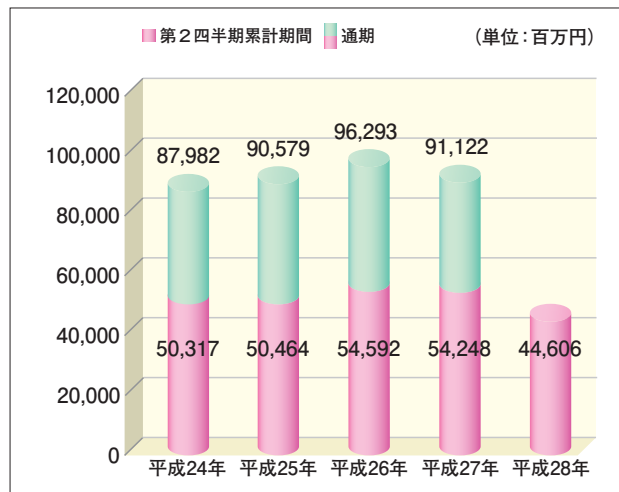
経常利益につきましては、ガス販売量の減少などにより前年同期比0.9%減の63億82百万円となりました。

四半期純利益は、法人税率が引き下げられたことなどにより前年同期比3.2%増の44億66百万円となりました。

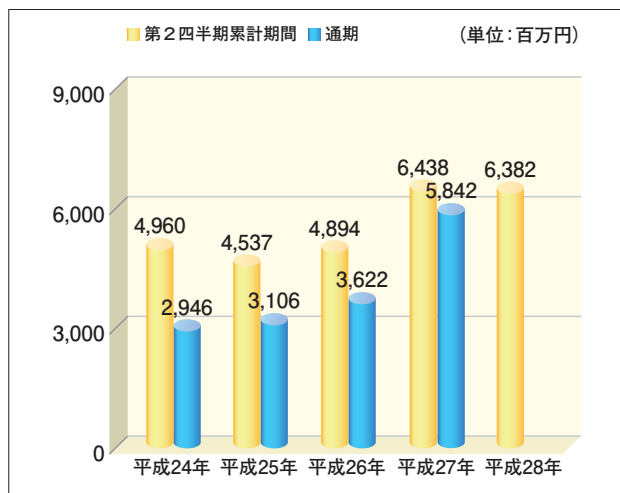
■ ガス販売量



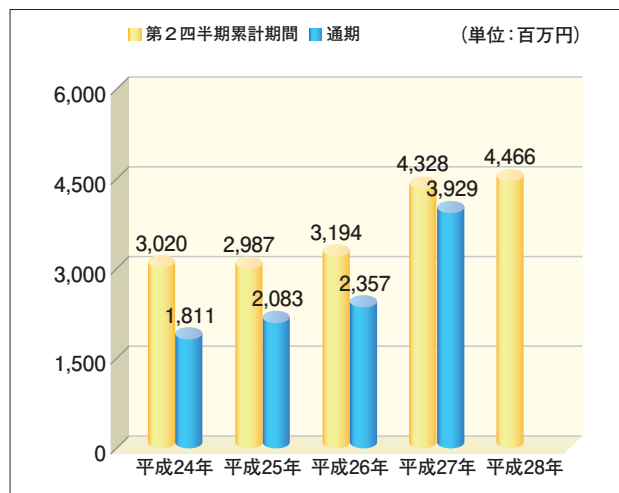
■ 売上高



■ 経常利益



■ 純利益



個別財務諸表

●四半期貸借対照表

	当第2四半期末 (H28.6.30)	(ご参考) 前期末 (H27.12.31)
(資産の部)		
固定資産	69,932	72,137
有形固定資産	56,573	56,784
製造設備	1,266	1,392
供給設備	40,311	40,733
業務設備	9,864	9,958
附帯事業設備	2,953	2,978
建設仮勘定	2,178	1,721
無形固定資産	1,481	1,476
投資その他の資産	11,876	13,876
投資有価証券	8,100	10,735
その他投資	3,791	3,155
貸倒引当金	△ 15	△ 15
流動資産	19,218	18,047
現金及び預金	11,782	8,372
受取手形	119	168
売掛金	4,455	6,210
商品及び製品	14	21
原材料及び貯蔵品	423	408
受注工事勘定	1,017	1,126
その他流動資産	1,435	1,778
貸倒引当金	△ 28	△ 39
資産合計	89,150	90,184

[単位:百万円]

	当第2四半期末 (H28.6.30)	(ご参考) 前期末 (H27.12.31)
(負債の部)		
固定負債	15,099	15,326
長期借入金	7,538	7,854
退職給付引当金	5,761	5,861
役員退職慰労引当金	368	340
ガスホルダー修繕引当金	402	355
固定資産除却損失引当金	413	335
器具保証引当金	615	578
流動負債	16,042	19,101
1年以内に期限 到来の固定負債	1,693	1,801
買掛金	2,348	4,070
未払法人税等	2,217	1,435
その他流動負債	9,783	11,794
負債合計	31,142	34,428
(純資産の部)		
株主資本	56,656	52,436
資本金	2,754	2,754
資本剰余金	36	36
利益剰余金	53,958	49,736
自己株式	△ 92	△ 91
評価・換算差額等	1,351	3,319
その他有価証券評価差額金	1,351	3,319
純資産合計	58,008	55,756
負債・純資産合計	89,150	90,184

●四半期損益計算書

[単位:百万円]

	当第2四半期 累計期間 (H28.1~28.6)	(ご参考) 前第2四半期累計期間 (H27.1~27.6)
製品売上	38,806	48,603
売上原価	17,259	26,545
(売上総利益)	(21,547)	(22,058)
供給販売費	13,420	14,041
一般管理費	2,317	2,126
(事業利益)	(5,809)	(5,890)
営業雑収益	5,403	5,445
営業雑費用	5,148	5,199
附帯事業収益	396	200
附帯事業費用	310	128
(営業利益)	(6,150)	(6,207)
営業外収益	293	304
受取利息	3	3
受取配当金	141	143
受取賃貸料	130	127
雑収入	18	29
営業外費用	61	73
支払利息	58	70
雑支出	2	3
(経常利益)	(6,382)	(6,438)
特別利益	41	—
固定資産売却益	41	—
特別損失	17	—
固定資産売却損	17	—
(税引前四半期純利益)	(6,406)	(6,438)
法人税等	1,940	2,110
四半期純利益	4,466	4,328

連結財務諸表

●四半期連結貸借対照表

	当第2四半期末 (H28.6.30)	(ご参考) 前期末 (H27.12.31)
(資産の部)		
固定資産	79,703	82,052
有形固定資産	64,964	65,221
製造設備	1,266	1,392
供給設備	41,779	42,133
業務設備	10,586	10,697
その他の設備	9,045	9,150
建設仮勘定	2,286	1,847
無形固定資産	1,474	1,469
投資その他の資産	13,264	15,361
投資有価証券	10,415	13,104
その他投資	2,867	2,274
貸倒引当金	△ 17	△ 18
流動資産	23,123	21,449
現金及び預金	15,494	11,618
受取手形及び売掛金	5,159	7,085
商品及び製品	14	21
仕掛品	1,080	1,221
原材料及び貯蔵品	450	428
その他流動資産	953	1,113
貸倒引当金	△ 30	△ 40
資産合計	102,827	103,502

(単位:百万円)

	当第2四半期末 (H28.6.30)	(ご参考) 前期末 (H27.12.31)
(負債の部)		
固定負債	17,758	18,084
長期借入金	8,757	9,199
役員退職慰労引当金	407	376
ガスホルダー修繕引当金	424	376
固定資産除却損失引当金	413	335
器具保証引当金	615	578
退職給付に係る負債	5,939	6,027
その他固定負債	1,200	1,190
流動負債	17,262	20,210
1年以内に期限 到来の固定負債	2,038	2,123
支払手形及び買掛金	2,469	4,185
未払法人税等	2,413	1,677
その他流動負債	10,340	12,224
負債合計	35,020	38,295
(純資産の部)		
株主資本	64,347	59,794
資本金	2,754	2,754
資本剰余金	36	36
利益剰余金	61,800	57,246
自己株式	△ 243	△ 242
その他の包括利益累計額	1,381	3,423
その他有価証券評価差額金	1,368	3,408
退職給付に係る調整累計額	12	15
非支配株主持分	2,077	1,988
純資産合計	67,806	65,206
負債・純資産合計	102,827	103,502

●四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 (H28.1~28.6)	(ご参考) 前第2四半期 連結累計期間 (H27.1~27.6)
売上高	46,392	56,224
売上原価	23,389	32,675
(売上総利益)	(23,003)	(23,549)
供給販売費及び一般管理費	16,241	16,649
(営業利益)	(6,761)	(6,899)
営業外収益	320	328
受取利息	4	5
受取配当金	143	145
受取賃貸料	110	107
持分法による投資利益	40	35
雑収入	20	34
営業外費用	75	90
支払利息	73	86
雑支出	2	3
(経常利益)	(7,006)	(7,138)
特別利益	41	—
固定資産売却益	41	—
特別損失	17	—
固定資産売却損	17	—
(税金等調整前四半期純利益)	(7,030)	(7,138)
法人税等	2,129	2,336
(四半期純利益)	(4,901)	(4,802)
非支配株主に帰属する四半期純利益	102	117
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,799	4,684

平成28年7月から低圧の電気販売を開始 ～ご家庭および業務用の低圧お客さま向け～

当社は、平成28年7月より当社の都市ガスをお使いいただいているお客さま※1向けに低圧の電気販売を開始いたしました。

【電気料金メニュー】

- (1) 「マイホームあかり」：主に家庭用のお客さま向け(40A以上) (従量電灯B相当)
- (2) 「ビジネスあかり」：家庭用の一部と業務用のお客さま向け (従量電灯C相当)
- (3) 「ビジネスちから」：動力用の電気をご利用のお客さま向け (低圧電力相当)

◆附帯割引※2

種別	適用条件	割引内容
ペア割	当社の都市ガスをご使用のお客さま	基本料金を170円/月割引 《年間2,040円の割引》
ほっと割	当社の家庭用選択約款 「ホットほっと (家庭用ガス暖房契約)」、 「ゆかほっと (家庭用ガス温水床暖房契約)」をご利用のお客さま	基本料金を250円/月割引 《年間3,000円の割引》
ピカ割	当社の家庭用選択約款 「ピカほっと (家庭用コージェネレーションシステム契約)」をご利用 のお客さま	基本料金を300円/月割引 《年間3,600円の割引》

電気料金メニュー「マイホームあかり」、「ビジネスあかり」に適用。

- ※1 当社のガスをご契約いただいているお客さま、またはガスの使用契約をお申し込みいただいたお客さま。
- ※2 電気をお使いの場所において当社とのガス使用契約の種別に応じ、いずれか一つの付帯割引が適用されます。



電気販売に関する詳細は当社ホームページ (<http://www.keiyogas.co.jp/>) でご確認ください。

おかげさまでお客さま数90万件達成

昭和2（1927）年に葛飾瓦斯株式会社として設立した当社は現在、市川市、松戸市、鎌ヶ谷市、浦安市、船橋市、柏市、流山市、白井市など千葉県北西部にガスをお届けしています。

設立翌年の昭和3（1928）年に350件へのガス供給を開始して以来、設立89年目となる本年、当社のガスをお使いいただくお客さまの数が90万件に達しました。

当社は、地域とともに歩んできたガス事業者として、今後とも、ガスの安定供給ならびに保安の確保に努めるとともに、効率的な経営の推進、サービスの向上に引き続き取り組み、お客さまと地域社会の皆さまからの信頼に応えてまいります。

—京葉ガスの歩み（お客さま数の推移）—

昭和2（1927）年	千葉県東葛飾郡市川町に葛飾瓦斯株式会社設立
昭和3（1928）年	ガス供給開始 お客さま数350件
昭和31（1956）年	お客さま数1万件
昭和33（1958）年	商号を京葉瓦斯株式会社に変更
昭和38（1963）年	お客さま数5万件
昭和44（1969）年	〃 10万件
昭和51（1976）年	〃 20万件
昭和56（1981）年	〃 30万件
昭和61（1986）年	〃 40万件
平成2（1990）年	〃 50万件
平成7（1995）年	〃 60万件
平成12（2000）年	〃 70万件
平成18（2006）年	〃 80万件
平成28（2016）年	〃 90万件（1月4日）

会社の概況 (平成28年6月30日現在)

設立年月日 昭和2年1月8日 (会社登記完了日)

資本金 2,754,768,192円

主要な事業 都市ガスの製造、供給及び販売
ガス工事の施工
ガス機器の販売

供給区域 千葉県市川市、松戸市、鎌ヶ谷市、浦安市の全域及び船橋市、柏市、流山市、白井市、習志野市、我孫子市の一部区域

主要な事業所
本社所在地 千葉県市川市
事務所所在地 千葉県市川市、船橋市、松戸市、柏市、浦安市
製造所所在地 千葉県千葉市中央区
供給所所在地 千葉県松戸市、柏市、浦安市、白井市

従業員数 910名 (常勤の就業人員数)

役員の状況

代表取締役会長	菊池	智
代表取締役社長	潟山	英清
常務取締役	羽生	弘
常務取締役	山田	英男
常務取締役	小井澤	和明
常務取締役	丸山	京治
常務取締役	江口	孝介
取締役	山浦	信英
取締役	福本	敏浩
取締役	小形	正節
取締役	菊池	孝次
取締役	佐藤	隆男
社外取締役	前川	英章
社外取締役	森近	藤村
常勤監査役	磯村	加賀見
常勤監査役	磯村	加賀見
社外監査役	加賀見	柳俊
社外監査役	青柳	俊一



株式情報

株式の状況 (平成28年6月30日現在)

発行可能株式総数 200,000,000株

発行済株式の総数 54,675,000株

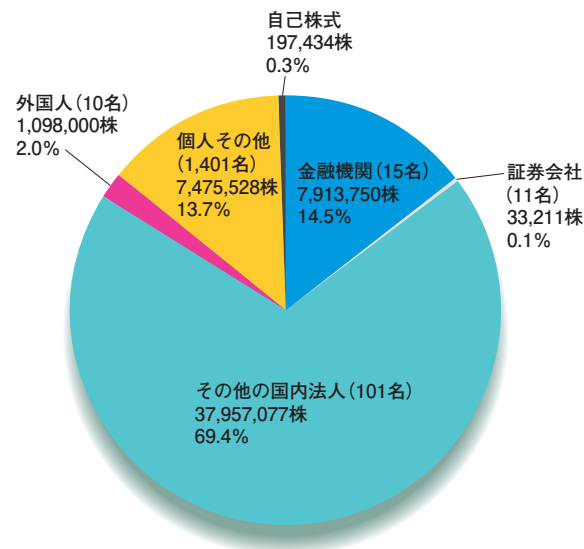
売買単位 1,000株

上場金融商品取引所 東京証券取引所 (2部)

証券コード 9539

株主数 1,539名

所有者別分布状況



株式事務のご案内

決算日 12月31日

定時株主総会 3月

配当金受領株主確定日 12月31日及び中間配当金の支払いを行うときは6月30日

基準日 定時株主総会基準日 12月31日
その他必要があるときはあらかじめ公告した日

公告方法 電子公告により行い当社ホームページに掲載 (<http://www.keiyogas.co.jp/>)

※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
特別口座管理機関

郵便物送付先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際に同封している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告の際には添付書類としてご利用いただけますので、大切に保管して下さい。

なお、配当金を株式数比例配分方式により受領される株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算が証券会社等にて行われるため、確定申告時の添付書類につきましては、お取引の証券会社等へご確認下さい。

株主さまのお手続きに関するお問合せ先

〔株式を証券会社の口座にお預けの場合〕

各種お手続きは、お取引の証券会社にお問合せ下さい。

〔株式が特別口座で管理されている場合〕

特別口座で管理されている株式に関する各種お手続きは、当社株式特別口座管理機関のみずほ信託銀行株式会社にお問合せ下さい。

（お問合せ先）

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-288-324（フリーダイヤル）

本冊子に関するお問合せ先

〒272-8580 千葉県市川市市川南二丁目8番8号
京葉ガス株式会社 総務部総務グループ
TEL 047-325-4111



平成28年1月、日本政策投資銀行（DBJ）の「DBJ BCM格付」制度において、昨年に続き最高ランク「事業継続に対する取り組みが特に優れている」との格付を取得いたしました。

この中間報告書は、当社の使用済み文書を湿式シュレッダーにてパルプ化しリサイクルした「京葉ガス循環再生紙」と、環境にやさしい植物油インキを使用しています。

